



そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園
園だよりNo. 11
2025年1月20日発行

1月の聖句
「新しい歌を主に向かって歌え」

詩編149:1

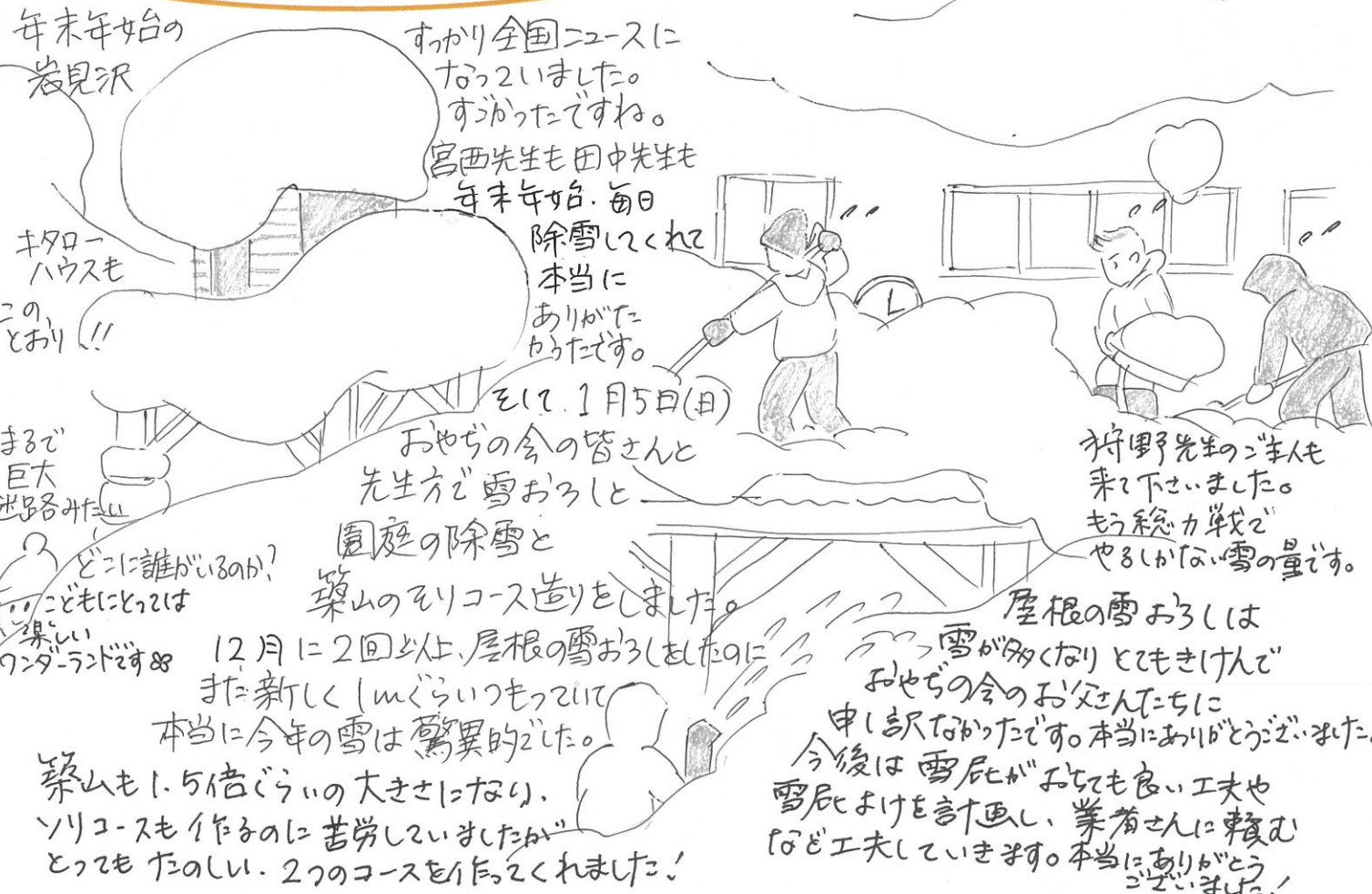
昨年は地球規模で、激動の世界でした。岩見沢は例年の2倍以上の大雪に見舞われ、雪が降りやまない中でのクリスマスでした。

2025年が始まりましたが、世界では混乱が続いています。私たち一人一人は、いつも平和と幸せを願い求めます。しかし現実には21世紀になっても戦火が止むことはありません。多くの人が平和を求めているのに願いがなかなか叶いません。

世界は深い闇に包まれている感じがいたします。でも闇が深ければ深いほど小さな光は大きく光ります。子どもたちは闇の中に灯った小さな光そのものです。光の子どもとして、平和を見つめる濁りのない子どもたちの目線の先に平和と幸せが待っています。

チャプレン・司祭 越山健蔵

記録的な大雪で全国ニュースに



1月9日(木)、10日(金)保育環境整備

先生たちの冬休み



冬の研修はたくさんあるのですが、子どもたちにストレートに還元できるのがこの環境整備です。今回は3つのお部屋で、子どもたちのようすを伝え、先生たちが「もっと自由に制作できるようにしたい」「好きな場所で食事できるようにしたい」「もう少しアクティヴに動けるスペースを作りたい」など要望を伝えます。

その話し合いをもとに井上先生がiPadにサササと設計図をかいて、先生方の気持ちを形にしていけるのです。

2. インクルージョン保育と運動遊び

1月11日(土)は法人の幼稚園と保育所のみならず、特別支援の研修でした。200mの参加と、これからの取り組みを学びます。

先行研究③ 中曽根(2018)の研究結果

預かり保育もあつたので、場所をお互いにゆずりあえた作業でした。

この研修は年に4回、土曜日にもう何年も前から、先生たちが積極的に参加し、学びます。特別支援の勉強は、すべての子どもたちにとっても大事なことがたくさんあります。

この(ま)にも、岩見沢と南空矢口の先生方が集まる研修などが、あり、みんな勉強した冬でした。

雪見受けも完成しました。これで子どもたちも先生たちも安全に冬をすごせます。

MAYA MAXX さん、ありがとう！

2022年から3年間、年長さんのお泊り会に来てくれたMAYA MAXX さん。今年はMAYA さんのおすすめで、一人一人小さなキャンバスに自画像を描き、持ち帰りました。もうすっかり痩せていて、病気のことをお話ししてくださいました。そんな闘病中とも知らずにお願いしたのですが、快く引き受けてくださり、いつものようにニコニコ笑顔で、楽しそうに子どもたちを見つめていました。

お別れをしに、先生方と葬儀会場に向かうと、たくさんのかわいいオブジェや作品に出迎えられ、正面に右の大きな写真が飾られ、いつものチェックのシャツを着て帽子をかぶったMAYA さんが眠っていました。岩見沢の雪景色に感動していたMAYA さん。さみしいお別れです。空にはまるでMAYA さんのような明るいまんまるなお月様が輝き、とても明るい夜でした。



「ミカエル、シェルトン、ムグ、トビ、検査すると、具体策が見れます。」